

2008年度の連結決算は減収減益に

横浜ゴム（株）（社長：南雲忠信）の2008年度（2008年4月1日から2009年3月31日）の連結決算は、売上高が前期比6.2%減の5,173億円となった。タイヤ事業は国内が新車・市販用ともに大幅減となったほか、海外も円高の影響を大きく受け減収となった。MB事業はゴム支承が伸びたものの、需要低迷の影響でホース配管、シーリング材、航空部品、ゴルフ用品の売上げが落ち込んだ。

営業利益は前期比61.3%減の128億円となった。原材料高や円高に加え、需要の急減に伴うタイヤやホースの生産性悪化などが響いた。経常利益は同98.5%減の4億円。営業利益の減少に加え、円高により外貨建て資産や海外子会社の円建て負債などの換算差損が生じた。当期純利益は57億円の赤字（前期は211億円の黒字）。繰延税金資産を取り崩したことで税負担が増え、大幅な減益となった。当期末の配当は期末配当を一株当たり4円とし、中間配当6円と合わせて年10円とする予定。年間では前年度に比べ3円の減配となる。

タイヤ事業は売上高が前期比4.8%減の3,997億円、営業利益は同62.0%減の99億円となった。売上げ減に加え、原材料高や円高の影響により減収減益となった。MB事業は売上高が同10.7%減の1,175億円、営業利益が同51.5%減の34億円。売上げが落ち込んだほか、タイヤ事業と同様、原材料価格の高騰や円高が収益を圧迫し、減収減益となった。

2009年度通期の連結決算は、景気減速に伴う需要減少や為替の円高傾向が懸念されるため、売上高は前期比5.3%減の4,900億円を予想している。しかし、原材料価格が前期に比べ安値で推移していることから、営業利益は同32.7%増の170億円、経常利益は同32倍の120億円、当期純利益は同127億円増の70億円の黒字を見込んでいる。

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム（株）広報部 担当：山口
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570

決算ハイライト

(百万円)

	2008 年度	2007 年度	2006 年度
売上高	517,262	551,431	497,396
営業利益	12,808	33,118	21,069
経常利益	371	25,164	20,084
税金等調整前当期純利益(▲は損失)	▲3,165	20,478	26,038
当期純利益(▲は損失)	▲5,654	21,060	16,363
減価償却費	28,683	27,238	22,165
設備投資額	43,340	27,292	40,638
総資産	473,376	526,191	536,322
純資産	144,159	181,538	186,528
有利子負債	179,379	165,614	167,473
営業活動によるキャッシュフロー	19,690	41,648	36,738
投資活動によるキャッシュフロー	▲39,031	▲33,734	▲35,122
財務活動によるキャッシュフロー	16,738	▲4,008	▲1,007
現金及び現金同等物の期末残高	16,239	19,530	14,812
一株当たり:			
当期純利益(円)	▲16.87	62.81	48.79
配当金	10.00	13.00	12.00

セグメント別

(百万円)

	2008 年度	2007 年度	2006 年度
事業別:			
売上高			
タイヤ	399,728	419,834	372,708
MB	117,534	131,596	124,687
営業利益			
タイヤ	9,890	26,049	14,670
MB	3,418	7,044	6,797
消去	▲500	24	▲397
所在地別:			
売上高			
日本	359,318	387,217	369,740
北米	101,789	111,995	98,136
アジア	23,639	22,992	13,897
その他	32,514	29,226	15,621
営業利益			
日本	4,441	22,900	17,469
北米	4,036	6,713	3,804
アジア	1,994	2,793	122
その他	1,542	1,047	393
消去	792	▲335	▲721

(注)所在地別の北米は米国及びカナダ。アジアはフィリピン、タイ、中国、台湾。その他は欧州、大洋州。